

■ステップ1ワークシート(案):各市区町村が在宅療養環境整備で目指す姿、現状の施策・事業を整理する

資料4-2(1)

- ・その市区町村として目指す、在宅療養のあるべき姿、それを達成するために実施している事業・施策を4つの場面ごとに整理し、棚卸しを行う。
- ・棚卸しに際しては、高齢者保健福祉計画や介護保険事業計画など適宜必要な資料などを元にして下記ワークシートを埋める。
- ・記入に際しては、適宜「ワークシート記入例」を参照のこと

■ワークシート記入例:

- \*記入例にあるように、現在行っている施策・事業を4つの場面ごとに整理する
- \*記入例は、①入退院支援の領域で施策・事業が行われていなかったケース。「①入退院支援」の欄が「-」となっている

大目標	中目標 (大目標を4つの場面ごとに細分化)		小目標 (中目標を細分化)	達成要因・要素 (どのような要因・要素に働きかければ小目標が達成されるか)	達成手段 (達成要因に働きかけるために行っている施策・事業)
	①入退院支援	②日常の療養	③急変時の対応	④看取り	
住み慣れた地域で最期まで暮らす	①入退院支援	-	-	-	-
	②日常の療養	在宅療養を希望するすべての人が在宅で療養できる	在宅療養・看取りが選択肢としてあることを住民に認知してもらう	在宅療養への認知	市民への講演活動
	③急変時の対応	どのような状態であっても不安感なく療養を続けることができる	急変時対応する在宅医の負担軽減	急変時の受け入れ先の迅速な調整 訪看による在宅医のフォロー 24時間訪問数の増加 24時間対応の負担感の軽減	バックベットの確保 事例検討会を実施(訪看と在宅医の連携にフォーカス) 区市町村としては働き掛けが難しい グループ診療制の導入
	④看取り	希望する場所で最期を迎えることができる	看取りに対応できる医療機関数が増加している 在宅療養・看取りが選択肢としてあることを住民に認知してもらう	看取りを行う医療機関数の増加 終末期対応の負担感の軽減 在宅療養への認知	在宅クリニック開業支援 事例検討会の実施 市民への講演活動(ACPなど)

■ワークシート

○記入の流れ

- ①「大目標」を記入  
\*高齢者保健福祉計画や介護保険事業計画などを参照に大目標を記入
- ②現在行っている施策・事業を「達成手段」の欄に4つの場面ごとに記入  
\*施策・事業が複数の場面に係る場合は、それぞれの場面ごとに記載する
- ③「①」、「②」から4の場面ごとに「中目標」、「小目標」、「達成要因・要素」を記入できる範囲で記入

○その他

- ・当該項目について、実施事業がない、もしくは検討されておらず埋められない項目は空欄とする(未検討である場合は、それを可視化し、どの分野が手厚く/手薄になっているかを明確にする)
- ・記入の際には必要に応じ行を追加/削除のこと

大目標	中目標 (大目標を4つの場面ごとに細分化)		小目標 (中目標を細分化)	達成要因・要素 (どのような要因・要素に働きかければ小目標が達成されるか)	達成手段 (達成要因に働きかけるために行っている施策・事業)
	①入退院支援	②日常の療養	③急変時の対応	④看取り	
	①入退院支援				
	②日常の療養				
	③急変時の対応				
	④看取り				